

原著論文

- 1) 秋山 弥, 神垣彬子 (2006), “登園時における分離不安の変容過程: 観察研究からの一考察”, 四国学院『論集』 144:55-74.
- 2) 神垣彬子, 山崎 晃 (2007), “HVMTにおける熟慮型 - 衝動型の探索方略の違いについての予備的検討”, 幼年教育研究年報 29:31-39.
- 3) 鍋田智広, 目久田純一, 神垣彬子, 松井剛太, 朴 信永, 山崎 晃 (2008), “幼児の連想的虚偽記憶における意味的知識の発達”, 心理学研究 78:591-598.
- 4) 神垣彬子, 山崎 晃 (2008), “触覚と視覚を用いた熟慮型 - 衝動型認知スタイル測定ツールの作成: HVMT-Rの信頼性および妥当性の確認”, 幼年教育研究年報 30:93-98.
- 5) 神垣彬子 (2009), “保育士養成校における領域「人間関係」の授業形態についての研究: 子どもの人間関係の形成を効果的に援助・促進するために(中間報告)”, 発達研究 23:225-227.
- 6) 神垣彬子, 入江慶太, 笹川拓也, 宮津澄江 (2009), “本学医療保育科病児保育コース学生の学びに関する研究1: 「医療」に対するイメージの変化からみる実習および学内指導の効果の検討”, 川崎医療短期大学紀要 第29号, 71-77.
- 7) 入江慶太, 神垣彬子, 宮津澄江, 笹川拓也 (2009), “本学医療保育科病児保育コース学生の学びに関する研究2: 小児病棟実習を通じた「チーム医療」「医療保育」の理解の変容”, 川崎医療短期大学紀要 第29号, 79-84.
- 8) 宮津澄江, 笹川拓也, 入江慶太, 神垣彬子 (2009), “医療保育者養成の取り組みに関する現状と課題”, 川崎医療短期大学紀要 第29号, 59-64.
- 9) 神垣彬子 (2010), “保育者養成校における領域「人間関係」の授業のあり方についての研究: グループ・ディスカッションを用いた事例学習の効果”, 発達研究 24:45-56.
- 10) 神垣彬子, 伊藤智里, 尾崎公彦 (2011), “領域「言葉」と領域「表現」の連携授業についての一考察: 保育者養成校における科目間の試験的連携”, 幼年教育研究年報, 32:95-100.
- 11) 神垣彬子, 中井靖(2011), “保育者養成における「ことば」を育てる視点の理解についての研究”, 川崎医療短期大学紀要 第31号, 69-73.
- 12) 中井靖, 神垣彬子(2011), “災害時の障害のある子ども及び家族への中長期的支援—インドネシア・ジャワ島中部地震の被災地におけるChildren House Projectから—”, 川崎医療短期大学紀要 第31号, 63-67.
- 13) 中井靖, 神垣彬子(2012), “就学前後を一体的に捉えた発達障害のある子どもを持つ親に対する支援モデルの構築”, 小児保健研究, 71, 印刷中.

著 書

- 1) 神垣彬子 (2006), “コラム3 統合保育を考える”, 秋山 弥 監修, 作田良三, 櫻田裕美子, 江玉睦美編集「教師の仕事とは何か; スキルアップへのファースト・ステップ」, 北大路書房, 47.
- 2) 神垣彬子 (2006), “コラム6 スクール・カウンセラーについて”, 秋山 弥 監修, 作田良三, 櫻田裕美子, 江玉睦美編集「教師の仕事とは何か; スキルアップへのファースト・ステップ」, 北大路書房, 98.
- 3) 神垣彬子 (2006), “コラム8 教師のストレスを考える”, 秋山 弥 監修, 作田良三, 櫻田裕美子, 江玉睦美編集「教師の仕事とは何か; スキルアップへのファースト・ステップ」, 北大路書房, 145-146.
- 4) 神垣彬子 (2010), “第4章 特別支援教育の現在”, 秋山 弥, 作田良三 編「子どもの現在」, 晃洋書房, 49-64.